

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6 年2 月 29日

事業所名 ウィズ・ユー羽曳が丘

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	67%	33%	クールダウンの部屋を児童に周知している	椅子を購入し適切な療育空間を維持している。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%		適切である。4月よりより一層手厚く療育できるように推し進めている
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	17%	83%		バリアフリーが必要な児童がいないためバリアフリー化はされていないが、今後手すりなど必要な箇所には取付を検討したい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	83%	17%		清掃・換気と加湿を徹底している。1フロアーだが、勉強と遊びの場所を分けている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	83%	17%	朝の朝礼で前日の振り返り、また個別での検証と支援のブラッシュアップを随時行っている	検証にもっと時間をかけて、改善点を話し合いよりよい療育をおこなっていききたい。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	83%	0%		回収後、職員全員で情報共有し具体的な業務改善へ繋げていきたい
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	0%	100%		今年度からの自己評価となります。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		外部からの評価をうけていないが、今後検討して善処したい
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	50%	50%	一人が研修をし、その内容を社内で研修を行っている	社内研修は適宜おこなっています。また必要な人には必要な研修を受けてもらっています。今後さらに受けてもらう職員を増やしていきたい
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	83%	17%		保護者からのアセスメントをもとに個別支援計画書を作成している
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	83%	17%		標準化されたツールをしようしている
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	83%	17%		保護者とのミーティングやモニタリングを介して適正に作成している。また適宜見直しも行っていきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	83%	17%		適切に行っている。また、適宜話し合いを行い様々な支援を行っていきます。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	83%	17%		適切に行っています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	83%	17%		様々な支援を行っていきます。今後教材も増やしていきたい。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	100%	0%		個別と集団を組み合わせて作成している

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	83%	17%		朝の朝礼時に行っている。土曜日など長期預かり時、できないときがあり前日にするなど工夫が必要
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%		翌日の朝礼で必ず振り返りを行っている
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	50%	50%		個別の記録を取り、検証し、支援が不足ならば戻すの作業を行っている
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		保護者の意見を踏まえ定期に行っている
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		最もふさわしい者が参画している
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	50%	50%		支援の方法を共有し、適切な支援を行っている
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0%	100%		医療的ケアが必要な児童がいないが、必要があれば連携を行う。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0%	100%		医療的ケアが必要な児童がいないが、必要があれば連携を行う。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0%	100%		保護者を通して情報の共有をしている。今後の検討課題として進めていきたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	50%	0%		特別支援学校、通級との情報共有は図っている
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	33%	0%		他の職員にも適宜研修が受けられる環境を早急に設定します。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	100%		現在まで機会がないが、必要に応じて機会を設定したい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	33%	67%		地域の会議等があれば積極的に参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%		送迎時に可能な限り伝え、個別懇談も行っている
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	17%	83%		児童への対応をアドバイスできる支援を研修等で行ってきたい。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		契約時に丁寧に説明しております。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%		丁寧に説明をし、同意を必ず得ている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		必要なタイミングで必ず伝えており、個別に懇談も行っていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		今まで機会がなかったが、今後そのような機会を設けていきたい
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	83%	17%		相談や申し入れに対し迅速に対応しています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%		月間予定表やライン、Instagramにて発信しています
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	83%	17%		カギ付きのキャビネットに保管。SNS等は保護者の意見を聞き、掲載付加の児童は載せないようにしている
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		常につながるツールがあり、分かりやすく配慮をしている
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		今後の検討課題とします。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	50%	50%		各マニュアルは策定中のため出来上がり次第周知を行います。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		他施設への体験や、避難訓練は行っています
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	33%	67%	改めてすべての児童に聞き取りします	契約時記入項目がある。服薬などの情報は事後になることがある
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%		対応の児童がいない
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		事例集はいつでも閲覧可能になっている
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	83%	17%		入社した際は必ず行っている
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	契約の際に必要な場合とそうでない場合を説明している。	身体拘束が必要な児童の個別計画書に記載あり。またやむを得ず身体拘束をする際は同意書を得ている

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。